参考様式第３号

年号○○年○○月○○日

事業実施主体名：　○○ ○○

UAV（ドローン）による写真測量野帳

１　写真測量の実施時期（該当を丸で囲む）：　施業実施前　施業実施後

２　市町村名：〇〇市町村

３　事業名：脱炭素の森づくりモデル事業

４　現地における検証点の確認方法（該当を丸で囲むこと）

（１）基準点等の既知点の座標値を採用

（２）トータルステーションによる座標値計測

（３）ＧＮＳＳ受信機による座標値計測（ハンドヘルド型受信機やドローンによる測位を含む）

（４）検証点間距離の実測

５　精度確認結果（（１）と（２）のいずれかに記載すること）

（１）座標値

イ　検証点１

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ①検証点の座標値（現地計測又は既知点） | ②写真測量による検証点の座標値 | ①と②の間の距離(ｍ) |
| 経度又はX |  |  |  |
| 緯度又はY |  |  |

ロ　検証点２

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ①検証点の座標値（現地計測又は既知点） | ②写真測量による検証点の座標値 | ①と②の間の距離(ｍ) |
| 経度又はX |  |  |  |
| 緯度又はY |  |  |

※経度・緯度は十進法で記載するよう努める。

※許容範囲：①と②の間の距離（ｍ）が３ｍ以下であること。

なお、国土地理院による測量計算サイト（距離と方位角の計算）等により計算し、小数点第２位まで記載すること（小数点第３位を四捨五入）。

（２）検証点間距離の実測

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ①現地における計測値  （ｍ） | ②写真測量による計測値  （ｍ） | ①－② | 基準値  （①＊0.05） |
|  |  |  |  |

※許容範囲：①と②の差が「①＊5/100」以下であること。

なお、小数点第２位まで記載すること（小数点第３位を四捨五入）。

６　写真測量に用いたオルソ画像、GISデータ及び検証点の位置

　※オルソ画像を添付する。

　※施行区域全体が把握できるオルソ画像に、施行区域のGISデータを重ね合わせたものを添付する。

　※検証点の位置を、赤丸で明示する。

　※スクリーンショットも可とする。

７　施行区域の面積又は延長

　　A =〇〇.〇〇ha（L=〇〇.〇〇ｍ）

**※６**、**７については**、**当該事項が明示された帳票等を整理する場合**、**記載を省略できるものとする。**

８　その他管理資料

検証点の座標値（現地計測又は既知点）の根拠資料

※測量の結果（点の記）、帳票、座標値が表示されている画面のスクリーンショット等